

「京都魔界巡礼団」同行企画

魔界ってほん魔界!?

第14界

京の魔界を巡らし、そのナゾに迫る「京都魔界巡礼団」。そのオカルト・古代史マニア集団が「京都チャンネル」に乗り込み魔界紀行番組を作ったと聞いて、奇々怪々興味津々と参加志願をした本誌編集部員達。さて魔界の真の姿とは…



中山団長

南副団長

「京都魔界巡礼団」

■レギュラー団員■

小嶋伸一 (ディレクター)・佐々木昇 (アシスタントディレクター)
丘真奈美 (放送作家・古代史ジャーナリスト)・加納進 (京都の史跡を訪ねる会会長)



「日御山山頂の大鳥居」

大鳥居の輪に立つ「伊勢大神宮通所」の石碑

京都明治維新の大風水・伊勢神宮の気を取りいれる謎のレイライン!

京都のミニ伊勢・日向大神宮の御神体山・日御山山頂にそびえる鳥居。それには大きな謎が隠されていた。中山団長がさる言葉研究家から聞いた話だと、この鳥居は三重県伊勢神宮の方向を向いており、伊勢の「気」=パワーを京都の街に入れる装置だという。早速、我々巡礼団はそのレイライン上の遺物をを探索べく地図を広げて伊勢から日御山鳥居に向かって線を入れてみた。

伊勢レイライン上遺物! ①平安神宮大鳥居



125000地形図に書いたレイライン



伊勢神宮から出たレイラインは日御山鳥居を通りかか平安神宮の大鳥居を貫いていた。平安神宮は明治28年「建都1100年祭」の時に京都三大事業の一つとして建立された社である。社殿は平安京の大内裏・朝堂院を模してつくられた王朝風のもので平安京が偲ばれる建造物だ。ここに祭られるのは平安京の創始者・桓武天皇と、平安京最後の帝・孝明天皇である。その表玄関のランドマークが大鳥居である。

京都魔界巡礼団団員 中山市朗

平安神宮大鳥居の本来の目的とは?



平安神宮の「大鳥居」

巡礼団は平安神宮大鳥居に急行。常何気なく見ている大鳥居。改めてじっくりと見るとその大きさに圧倒される。日本三大鳥居の1つであるこの鳥居は、東京遷都で意気消沈した京都に活力を与えようという願いを込めてつくられた。が、ただ大きいだけではない。伊勢の「気」のパワーを増幅させているように見える。平安神宮と大鳥居。そこには往時まだ存在した陰陽師の意気込みが封じ込められているのだ。

京都魔界巡礼団団員 古代史ジャーナリスト/丘真奈美

■魔界への入口は… 日向大神宮

京都市山科区日ノ岡一丁目29番

【魔界TVシリーズ再放送予定の問い合わせ先】

京都チャンネル (スカイパーフェクトTV ch.726)
http://www.kyoto.channel.com/ 075-253-0609 (FAX)

POWER PLAYS SOUND

Music is moistened our life. Tasteful album is here. We'd like to find your recommended one.

共感と小気味よい裏切り 日常から創る独自の異日常感



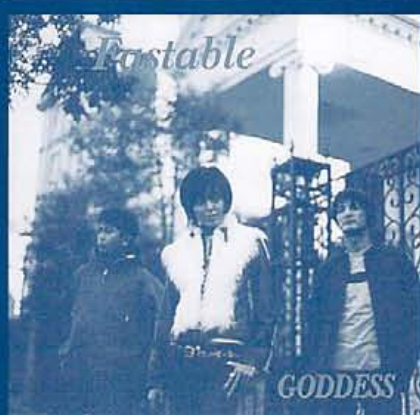
COLOUR BY NUMBERS / CULTURE CLUB

「中学生の時初めて買った洋楽のアルバムです。83年のリリースながら、今聞いても全く古い感じがしないところが魅力ですね。収録されている「Kama Chameleon」は最近JCMでも流れてましたね」



PUMP / AEROSMITH

89年発売の世界で800万枚のセールスを記録したメガヒットアルバム。「エアロスミスのファンとしては定番中の定番だけど、これを聴くとかなり落ち着くんですよ。今でもマイヒーローテーションの一枚」



Fastable / GODDESS

前田耕陽氏を筆頭に3人で結成されたGODDESSのフルアルバム。ツアーを通じてファンの強い要望で生まれた一枚は、収録曲も人気曲で固めたが「聞き込んで買うことを計算してライブとはアレンジも変えたので、制作にはかなり時間をかけました」と、ラストにして決定盤。前田氏のベストソングは8曲目「優しいあなた」



京都の夜は飲んで更ける…

前田耕陽 / ミュージシャン

http://www.koyo-maeda.com/

キーボード&ヴォーカルとして活動したGODDESSのラストアルバム『Fastable』が発売中の前田耕陽氏。現在はソロとして音楽活動を続け、昨年末にはライブも終えたばかりだ。作詞作曲も男闘呼組時代から少しずつ手掛けてきたが、その個性が一番に発揮されるのはやはりソロ活動の場。お腹を壊した男のスリリングな中継曲、風邪を引いた日に迎えた予想外の結末…。そのコミカルでシュールな独特の感覚は日常のふとした事から生まれるという。「その時に自分のいる環境によっても色々な刺激を受けますよ」。昨年11月に舞台を動けた京都南座では「楽屋に流れる演歌を聞いてやっぱり詞が深いよなって思ったり。何でそうアレンジするかなあって突っ込んだり(笑)。それまでの自分には無かったものにも素直に反応し柔軟に吸収していく前田氏。芝居やバラエティなど各ジャンルでも様々な顔を見せる現在、そこでの刺激因子が彼のフィルターを通じてどう音楽となって生まれだすか、今後の展開にも期待したい。

ダブルロールズミュージシャン



「音楽はゆとりが大切だね」と、バンド活動は辞めてマイペース。ブルーバンド「kinbeパンスキン」以外にも「京都都立の自衛隊員」なるフォークユニットやジャズバンド「ムーングループ」で活動中

5席ほどの店内は満席なら常連がカウンターの中へ入り、席を空けてくれたりと、そんなフランクさが気持ちいい。場所は西条宮小路1-4 西条宮ビル

kinbeパンスキンinfo

■ライブ 未定
■問い合わせ 「Bomb Bar はせ川」
090-2286-5494

「現実」の二文字から二足の草鞋(ダブル・ロールズ)を天秤の皿の上で量かざるをえない音楽人。夢と生業を計りにかけつつフルタイムで稼ぎ、音楽をこよなく愛する巨星。それが「ダブルロールズミュージシャン」。

「kinbeパンスキン」の Vol.11 長谷川克巳

追憶はブルーに染つた記憶
ブルースに纏つた記憶
「ひとつのブルーに自身の感情を重ねるから、「ブルースは思い出の一面を綴った『アルバム』みたいなもの」と言う長谷川さん。彼の本業は、24年間勤めた音楽会社を「そろそろ音楽に専らしたいな」と、辞めて弾いた「Bomb Bar はせ川」の主な、音好きが集う店では毎日に音楽談義に花を咲かせている。そして前も深まれば、店内に掛かるギターを手に酔客を交えての「ハベレバコンサート」が始まるもまた日常。「昔と違って今は仕事もバンドの延長線みたいなもんやね(笑)」とは企業時代にはない「気楽さ」にラッピングされた生活を手に入れたからこそ言葉だろ。そんな日々から紡ぎだされるのがアルバムの1ページであり、ブルースのブルーに染つた記憶。